

病床機能の転換等について [和歌山保健医療圏構想区域 協議の場]

医療機関名 笠松病院

現在の病床機能【概要】				
＜令和元年8月現在＞				
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	稼働率(注)
高度急性期				
急性期				
回復期				
慢性期	1	療養病棟入院料 1	32	90.0%
		(介護療養病床)	15	
計	1	—	47	—
(備考)				

(注) 平成29年7月1日～平成30年6月30日までの病床稼働率 (H30病床機能の現状等アンケートより転記)

転換の予定				
＜令和2年2月以降＞				
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	
高度急性期				
急性期				
回復期				
慢性期	1	療養病棟入院基本料1	38	
介護医療院	1	—	8	
計	2	—	46	
(転換の概要) 介護療養病床15床のうち、8床を介護医療院に、6床を医療療養病床に転換。 残る1床は廃止。				

現在の病床機能【詳細】
<p>昭和43年に病院を開設し、主に地域の救急医療を担っておりましたが、高齢化社会の到来に伴い、平成8年に県下で先駆けて療養型病院となりました。その後、平成12年に介護療養病棟を併設し、現在に至るまで、海南地域の慢性期患者様の受入れ先として、医療・介護・リハビリテーションを提供しております（リハビリに関しては、運動器リハビリテーション料Ⅱ及び脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅲを算定）。</p> <p>今回、介護療養病床が制度上廃止されることに伴い、当該病床からの転換により、介護医療院を開設することになりました。</p>

転換後における病院のあり方
<p>医療必要度の高い患者様は医療療養病床に、容態の比較的安定した患者様は介護医療院に入所してもらい、これまで同様、慢性期の多様な患者様を受け入れます。</p>
<p>＜地域密着型協力病院指定申請の予定の有無等＞</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 指定済み</p>